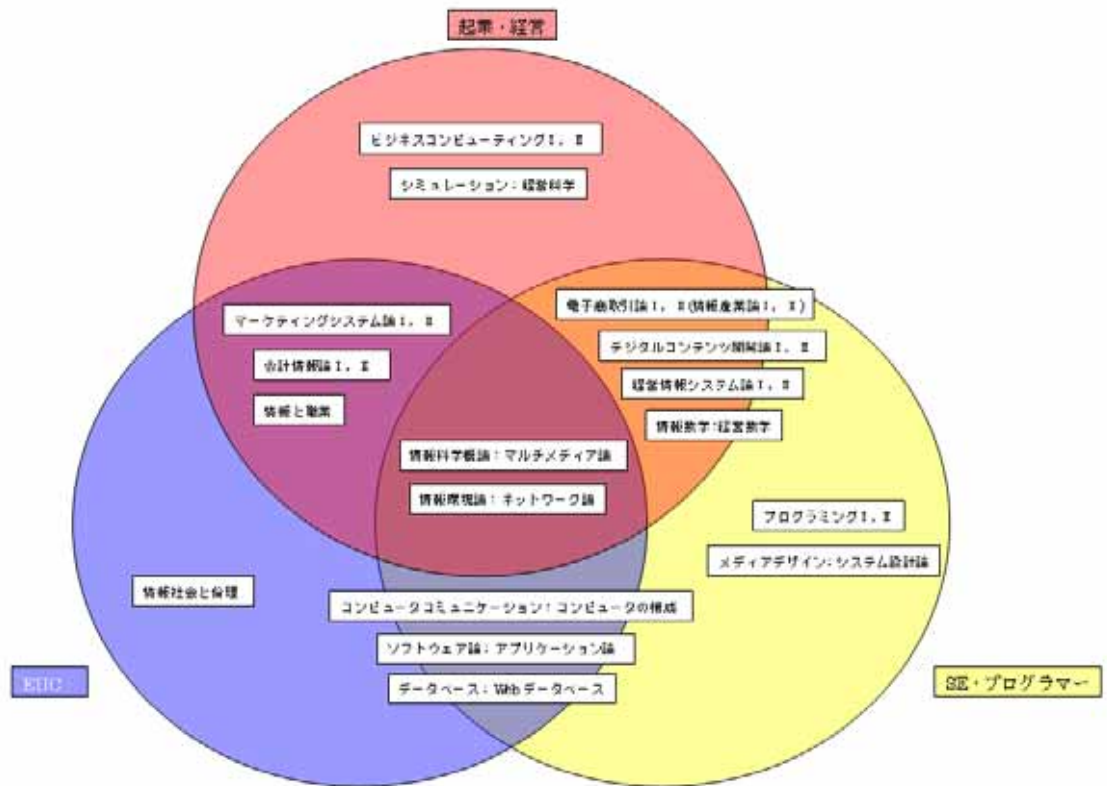


商学入門講座（春semester・情報コース）

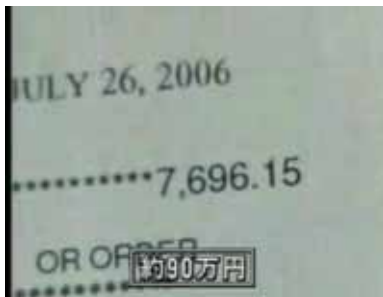
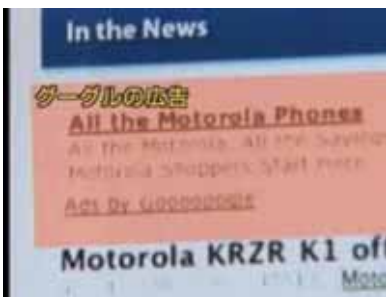
担当 商学部 高橋 律



商学部情報コースでは、人間や社会とのかかわりから情報について論じ、その理解を目指します。
 （理系大学では、情報の蓄積・変換・伝送などにかかわる学問に取り組みます。）



1. 何かを決める際に Google の検索結果が判断材料になる、という人が急増している。



2. アフィリエイト⇒誰かのクリック 1 回が 40 円の収入となる。月額にして 90 万円の収入が HP の広告から得られる。



3. 検索結果の表示位置を上げるビジネスが登場。雑誌、大学、その他、すべての企業。検索結果が上位の企業しか、人々は見えていない。5 位以下では半分くらいの人は見ない。ランキングが上がれば、収益が上がる。



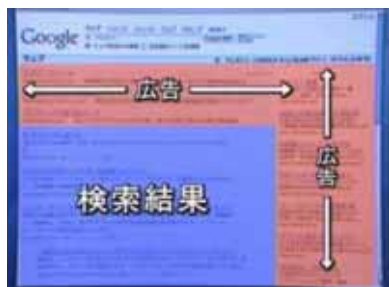
4. 年間 180 万円を払ってホームページを業者に作り変えてもらった。すると、検索順位 4 位→収益はそれまでの 3 倍に増加。



5. グーグルの社員になるには、高速道路の看板に記された難解な数学の問題を解くと、グーグルの求人広告を読むことができる。



6. 全世界のデジタル画像を瞬時に検索する「イメージ検索」。世界中のニュースを検索「グーグルニュース」。出版されている本の全ての内容を検索できる「ブックサーチ」



7. 企業の営業戦略に革命的な変化をもたらしている。

ある花の種の販売をする中小企業は、すべての花の名前の検索結果に、花の種の注文広告を表示させた。1回のクリックあたり12円で広告スペースを購入。



8. 朝顔で検索する人は、アサガオの種を買いたいと思っている確立が高く、きわめて効果的。

あるキーワードを打ち込んだ人に、その広告を表示する手法は「ターゲット広告」と呼ばれる。

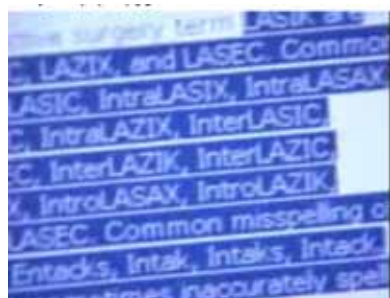
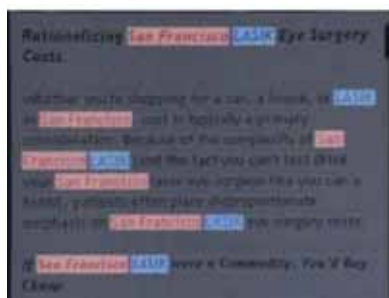
検索でページに来た人の10人に1人は、それを購入している。収益は3倍に増加。



(スタンフォード大時代の創業者)

9. 人気のキーワード(例、オンライン大学)は、1回のクリックあたり40ドル(5000円)に高騰。関連キーワードを各社が競って買おうとする。グーグルの収益は年間1兆円規模にも達する。

検索ランキング、検索結果がより知りたい順番で表示されるという評判が高い。「ページランキング」と呼ばれる手法。リンクを生かした原理から、より多くのリンクを貼られているページが順位が高い。100を超える秘密の順位付けを行っている。



P4P (ペイフォーパフォーマンス)読み方 「ピーフォーピー」
フルスペル 【Pay for Performance】

検索エンジンで検索を行った際に、検索キーワードに連動して表示される広告で、**ユーザが広告をクリックした回数に応じて広告主に広告料が課される方式**。P4P では、広告に連動させたい検索ワードに対して広告主が入札を行う入札制（オークション制）を採用しており、入札金額の高低によって広告の掲載順位が確定する。オーバーチュアが提供している「スポンサードサーチ」、Google 提供の「アドワーズ広告」が代表。呼び方が固定されておらず、広告システムの特徴によって、キーワードマッチ広告、テキストマッチ広告、検索連動型広告、リスティング広告、スポンサーサイト広告、ペイパークリック広告などとも呼ばれている。

10. 自然な文章の中に、検索キーワードを一つでも多く入れていく手法。

ライバル業者のホームページには、奇妙な単語の羅列があり、順位を上げていた。文章になっていないのにキーワードを並べる方法は、グーグルでは禁止している手法に近い。（違反すれすれ）打ち間違えても、ページを表示することができる。その他、リンクの水増しをするなど多数の不正。



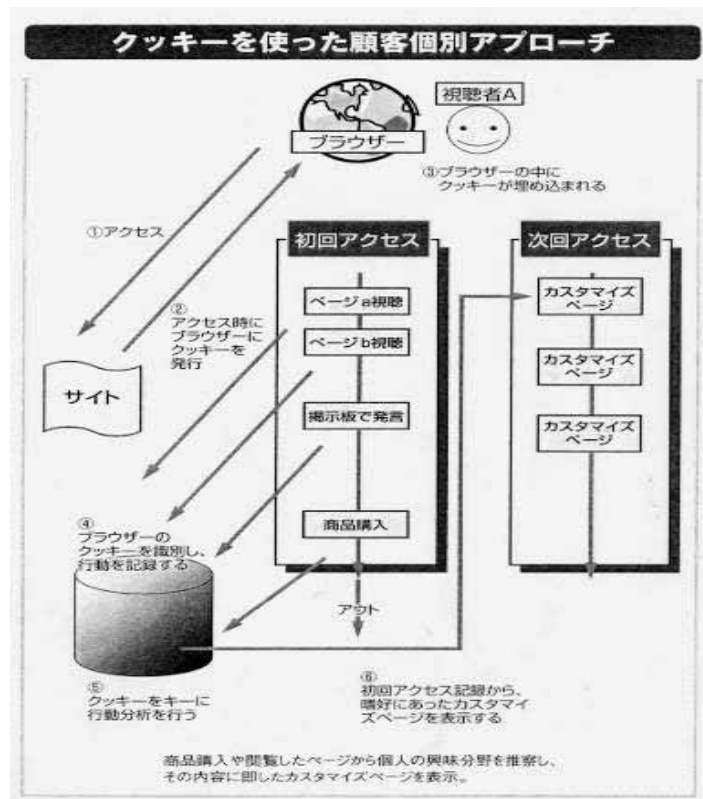
11. 新しい戦略。個人の検索履歴や移動した地域の情報から、好みに応じた広告を表示させる。個人情報すべてがグーグルが管理しようとする。購入履歴、カード情報、



インターネットのアクセス析から趣味、嗜好を推定しワン・ツー・ワン・マーケティングを行なう。

例えば、ある企業のサイトの中で新製品情報のコーナーを見た人は、それを見なかった人よりもカタログ請求率が高い傾向がある。

その顧客に対しては、カタログ請求のページを強制的に見せ、効果的な販売促進が出来る。



Step1 クッキー埋め込み前



Step2 検索 (クッキー情報埋め込み)



Step3 サインイン (ユーザ分析)



Step4 カスタマイズ (興味分野の推察)



1 2. 9千万台以上普及している日本の携帯電話もグーグルの対象。私達の生活の80%が、検索から始まる時代になった。検索=検索データの提供

1 3. 新たなサービスの提供による、グーグルへの集中

(例 1)グーグル・アース



(例 2)グーグル・ヘルス

利用者が自分の医療記録を管理し、健康に関するアドバイスをオンラインで受けられる保健サービス「グーグル・ヘルス」。利用者は、薬局や検査会社などから取り込んだ医療記録で電子健康プロフィールを構築。自分の担当医と情報を共有することを選択でき、例えば心臓発作のリスクを追跡し、セカンドオピニオンのため専門家とネットワーク上で接続するなど、幅広いオンラインツールを利用できる。

